

防風対策

防暑対策

浮棧橋・簡易浮棧橋



SIMPLE PONTOON

簡易浮棧橋設計

干潮時には岸壁との高低差により、漁船への乗り降り、綱取り、漁具の積み降ろし、給油作業、漁獲物の陸揚げ作業等の就労環境は過酷であると同時に危険を伴うものもあり、就労者の急速な高齢化や減少が進む中、就労環境の改善が急がれています。

その対策として既設の前面に簡易浮棧橋（幅2.5m程度の小型浮棧橋）を整備することにより、潮位差に関係なく漁船と浮体の高さ関係を常に一定に保つことにより、漁船への安全な乗り降り、綱取り、準備・陸揚げ等の作業の円滑化及び効率化を図る事により、労働環境の改善が期待できます。

水産庁の新たな漁港漁場整備長期計画

重点課題として、「漁港ストックの最大限の活用と漁村のにぎわいの創出」の一環で、女性・高齢者などにとって住みやすく働きやすい漁村づくりを推進しており、その一部に、**浮棧橋の整備**による就労環境改善対策を推進する事を実施の目標として掲げています。

業務実績(簡易浮棧橋の設計)

- ・島原港社会統合補助工事（設計業務委託）
- ・岐山漁港漁村再生交付金工事（設計業務委託）
- ・薄井漁港水産流通基盤(一般)整備設計委託 他

構造形式

FRP のものが多く、一体成型のモノコックタイプとデッキ・フレーム・フロートで構成されるセパレートタイプがあります。係留は、H 形鋼ガイドレール方式が一般的です。

整備前



整備後

